

環境調査結果のお知らせ

平成29年3月17日9時過ぎから浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は14.4~16.2℃で、前回調査時(H29.2.3)と比較して表層から2m層で0.5~3.8℃上昇、底層で0.1℃下降していました。

塩分は31.1~33.0で、前回調査時と比較して全層で0.3~5.9上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は7.8~10.8mg/lで、前回調査時と比較して表層から2m層で0.6~2.0mg/l増加、底層で0.1mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で10,800cells/ml、無害種のプロロセントラム・トリエステティナムが最高で4,100cells/ml確認され、両種とも赤潮状態となっていました。今後の天候次第ではさらに増殖する可能性がありますのでご注意ください。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.2.3)	
		差(今回-前回)	
0m	14.4	10.6	3.8
1m	14.6	11.9	2.7
2m	15.9	15.4	0.5
B-1	16.2	16.3	▲ 0.1

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.2.3)	
		差(今回-前回)	
0m	31.1	25.2	5.9
1m	31.6	27.6	4.0
2m	32.4	30.9	1.5
B-1	33.0	32.7	0.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.2.3)	
		差(今回-前回)	
0m	10.8	8.8	2.0
1m	9.3	8.6	0.7
2m	8.8	8.2	0.6
B-1	7.8	7.9	▲ 0.1

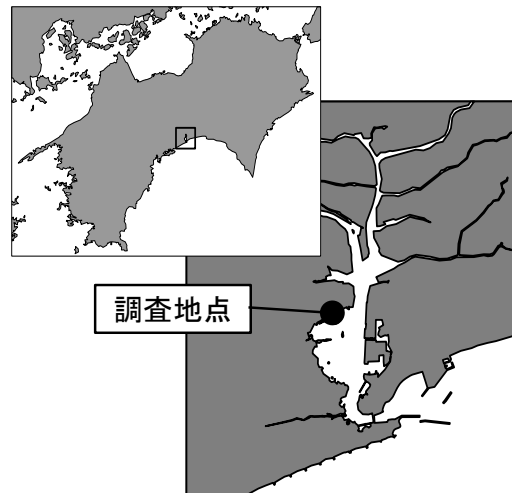


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.7	3.8
透明度	2.0	3.1

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステティナム	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	10,800	4,100	4	7	750
1	8,900	3,100	1	9	250
2	8,500	1,200	1	2	10

漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ:  
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・プロロセントラム・トリエステティナム:  
1,000cells/ml(無害種)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>